

読書傾向と図書館に関するアンケート調査について

■ 主旨

平成22年6月「江津市図書館・歴史民俗資料館建設基本構想」、平成23年3月「江津市図書館・歴史民俗資料館建設基本計画」が策定され、14年以上が経過するも、現時点で具体的な図書館の建設内容は決まっていません。これらの計画は時間経過とともに、市民のニーズや社会情勢と乖離している可能性を否定することができません。よって、当時実施したアンケート調査を踏まえながら、新しいニーズや、持続可能性を踏まえた当計画の改定を行うために、アンケート調査を実施しました。

■ アンケートの概要

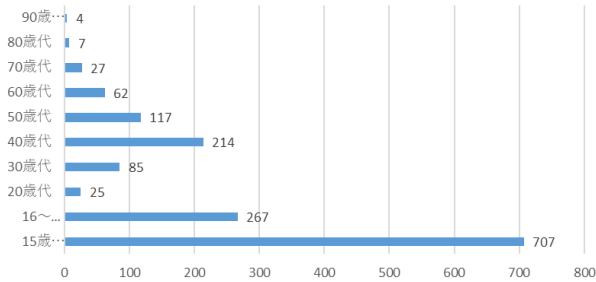
方法： WEB方式で選択式 実施期間： 令和8年1月30日～2月28日

回答数： 1,515件（前回2,885件 平成22年8月実施）

■ 周知

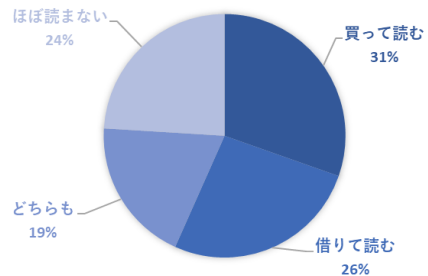
- ①かわらばん掲載 ②江津市ホームページ ③市内小中学校依頼（小学3年生以上）
④公共施設設置 ⑤公式LINE ⑥保護者テトル配信 ⑦市内高等学校依頼 等

回答者の年齢



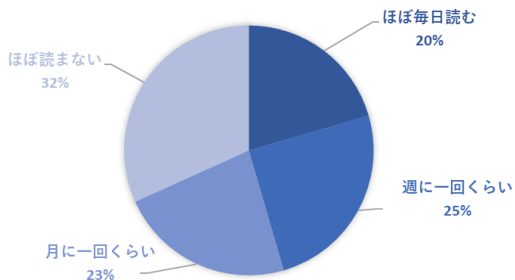
今後図書館を利用する可能性の高い、小中学生や、高校生に対して、学校を通じたアンケート協力の依頼を行った。

どのような方法で本を手取るか



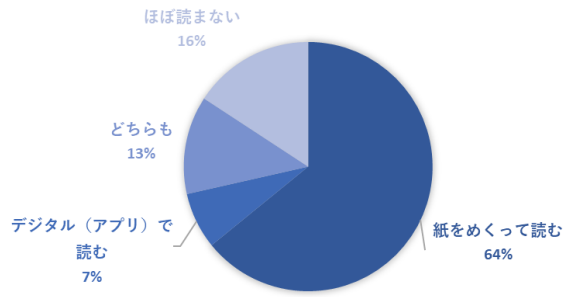
本は買って読む人が多いが、大きな差はない。読書をほぼしない人の割合も低い。

読書の頻度



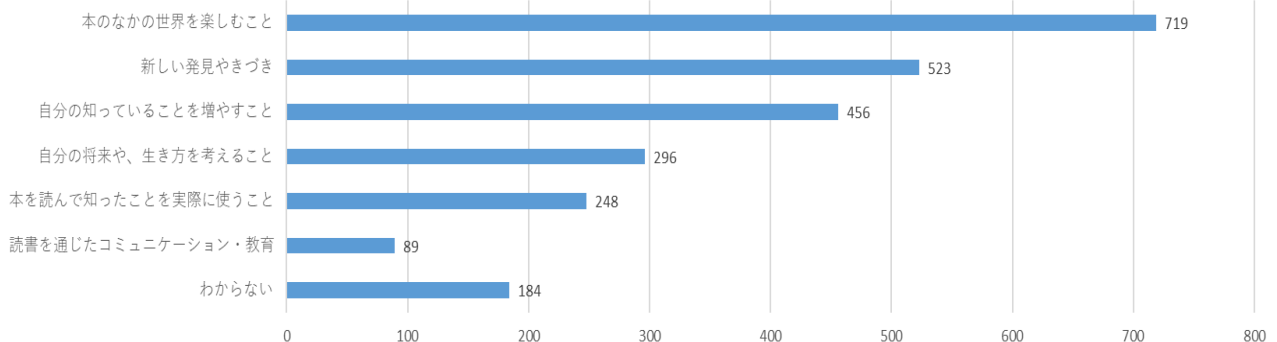
本を読む頻度は様々だが、7割の人が読書に親しんでいる。しかし、学生の回答が多い中で3割以上がほぼ読まないと回答しており、読書離れが懸念される。

どのような読書の方法が好きか



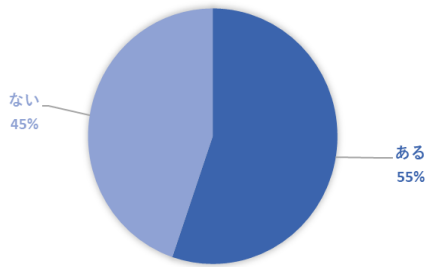
実際に、本を手にとって読むことを好む人が多い。デジタルを活用している人の割合は2割となった。

読書に求めるもの



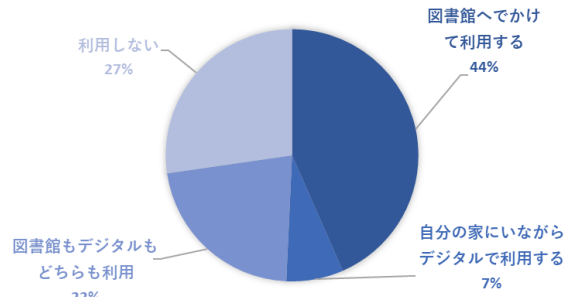
読書に求めるものとして、本の中の世界観や物語に入り込むエンターティメント性を求める傾向がより強く、続いて知的好奇心や探究心を満たすこと、自己啓発と続いている。

図書館へ行ったことがあるか



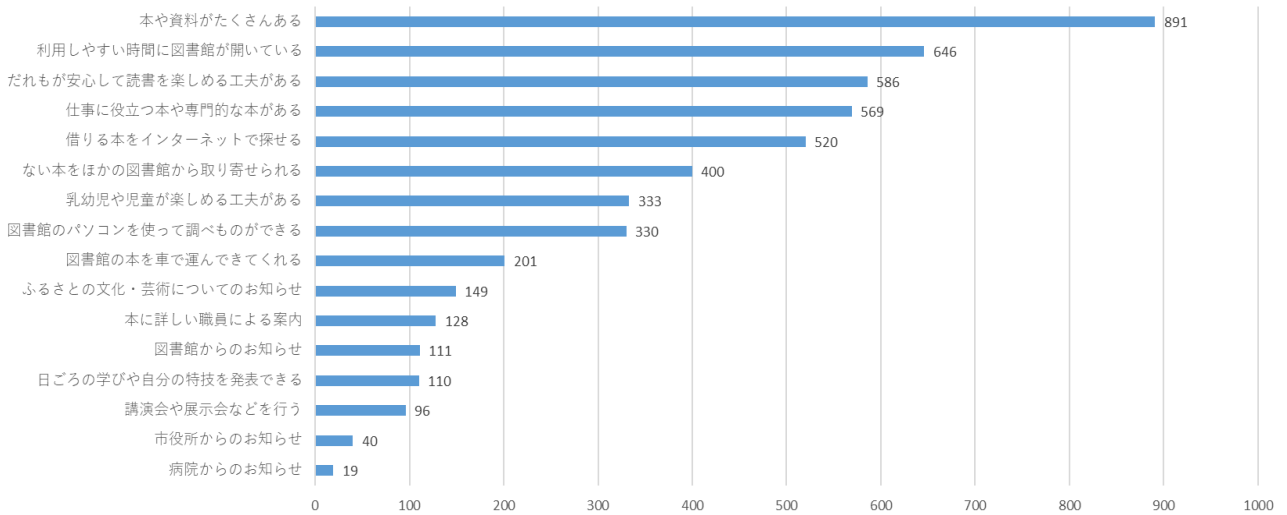
回答者のうち約半分は、図書館へ行ったことがない。

図書館をどのように利用したいか



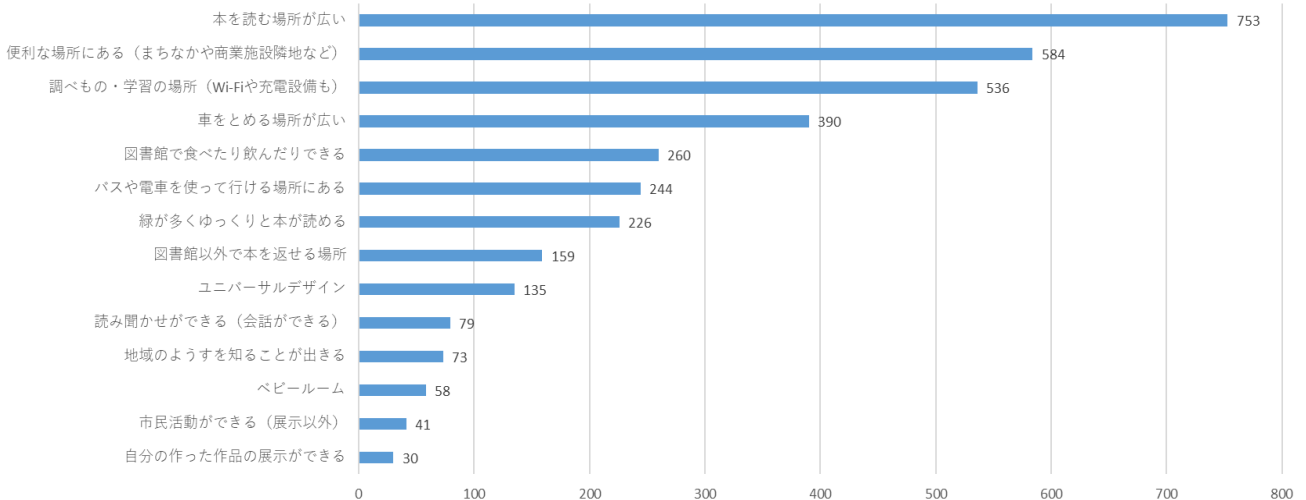
実際に、図書館へ出かけて利用したい人が多く、デジタルの利用を求める人も一定数あるが、多くはない。デジタルのみの利用を求める声は少ない。

図書館にとって大切なサービス



書籍や資料が量的に充実した図書館を望む声が多い。続いて利用しやすい開館時間が求められている。これらに続いて、利用したい人は、だれでも読書を安心して楽しめる工夫や、仕事に役立つ本や専門書を求める声が続いた。

図書館にとって大切な施設



読書に求めるものとして、本の中の世界を楽しむことが求められており、そのためには一定以上のスペースの確保が必要とアンケート結果からうかがえる。また、開館時間と共に場所の利便性の高さも求められている。調べもの、学習スペースの必要性と、駐車場の広さも重視されている。また、新しい図書館には、飲食スペースも求められている。